

第5章 これからの産業振興と 具体的な取組

- 基本目標 1. 商工業の基盤強化・活性化
- 基本目標 2. 新たな産業の誘致・育成
- 基本目標 3. 地域ブランドの創出・展開
- 基本目標 4. 雇用・就業機会の拡充

基本目標

1.

商工業の基盤強化・活性化

商工業をめぐる社会経済環境は、少子高齢化、生活スタイルの変化、製品・技術の進歩、製造業の海外移転など大きく変動していますので、市内商工業者においても、事業環境の変化に対応して事業内容や経営のあり方を見直し、経営基盤の強化や活性化を図っていく必要があります。

そこで、この施策の柱のもとでは、中小企業の活性化をはじめ、商店街にぎわいの再生、市内立地企業の振興の3つを基本施策として、市内商工業が全体的に活性化し存立の基盤を強化できる施策を進めます。



第3回下野市産業祭の様子



石橋庁舎前 軽トラック市の様子

(1) 中小企業・小規模事業者の活性化

基本施策	(1) 中小企業・小規模事業者の活性化													
施策内容	<p>小規模企業振興基本法では、技術やノウハウの向上、安定的な雇用の維持などを含む事業の持続的発展を位置付けることとし、小規模支援法では商工会が意欲のある小規模事業者の取組を行政や金融機関などと連携し強力に支援するとしています。市内事業所の9割以上を占める中小企業・小規模事業者が、需要や事業環境の変化に適切に対応できるように、各業界の動向紹介、個別事業者ごとの経営問題に対する相談などの拡充を進めます。</p> <p>こうした経営相談等を通して、中小企業・小規模事業者が設備改善や資金繰り改善、新たな事業に取組む場合等には制度融資や、国の認定事業・モデル事業等を積極的に活用して取組を支援します。</p> <p>市内の中小企業・小規模事業者は、一般の市民とともに市内で暮らす「企業市民」であり、街の秩序を守り、安全安心なまちづくりの一端を担っており、その存続は地域にとって重要です。そこで、公共調達に地元商店や中小企業・小規模事業者を活用したり、市民の地元消費・地元店愛用などを進めます。</p>													
個別施策	<p>ア. 経営相談の拡充</p> <p>中小企業・小規模事業者の課題に寄り添って、より効果的に中小企業の活性化に役立てる仕組みづくり、計画の策定を進めます。先進例を参考にした現場改善や企業間連携などにより市内企業・産業界の活性化を図るなど、経営相談の拡充を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営発達支援計画の策定支援 ・商工会経営指導員の巡回指導とその情報活用の仕組みづくり ・栃木県産業技術センター等との連携による新技術・製品の開発支援 <p>イ. 制度融資等の活用</p> <p>市制度融資、国の認定事業・モデル事業等を活用し、経営体力強化や事業の拡大に取組む企業を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下野市中小企業制度融資による支援拡充 ・下野市中小企業制度融資資金信用保証料補助による支援 ・下野市中小企業制度金融利子補給による支援 ・国・県等の支援制度の情報提供 <table border="1" data-bbox="375 1462 1370 1505"> <tr> <td style="background-color: #ffffcc;">数値目標</td> <td style="background-color: #ffcccc;">制度融資新規活用件数</td> <td>H25</td> <td>177件</td> <td>H31</td> <td>200件</td> </tr> </table> <p>ウ. 公共調達に地元中小事業者を活用</p> <p>地元中小事業者の育成を促進するとともに、防犯、災害対応、住民生活支援等の役割を果たすよう、地元事業者を活用する公共調達の仕組みを検討します。</p> <p>エ. 地域内の消費活動の促進</p> <p>プレミアムの付いた下野市共通商品券の発行支援を行います。共通商品券については、利用可能業種等使いやすさの向上を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下野市共通商品券の発行支援 ・まちなか賑わいまつりなど消費活動促進イベントへの支援 <table border="1" data-bbox="375 1895 1370 1937"> <tr> <td style="background-color: #ffffcc;">数値目標</td> <td style="background-color: #ffcccc;">消費活動促進イベントの開催</td> <td>毎年開催</td> </tr> </table>					数値目標	制度融資新規活用件数	H25	177件	H31	200件	数値目標	消費活動促進イベントの開催	毎年開催
数値目標	制度融資新規活用件数	H25	177件	H31	200件									
数値目標	消費活動促進イベントの開催	毎年開催												

	<p>オ. 商工会の活動支援</p> <p>中小企業活性化のための事務、事業を商工会に委託して実施します。また、商工会が実施主体となる事業への補助、商工会活動への助成を行い支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商工会運営費補助 ・ データ放送やメール配信を活用したイベント等のPR活動推進 ・ 商工会との共催による講演会・交流会等の開催 ・ 商店街LED街路灯整備支援
国・県等の関連施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定支援による経営改善計画策定支援事業【中小企業庁、(独)中小企業基盤整備機構】 ・ 中小企業向け制度融資【栃木県】 ・ 経営改善バックアップ事業【栃木県】 ・ 専門家継続派遣事業【(独)中小企業基盤整備機構】 ・ 販路開拓コーディネート事業【(独)中小企業基盤整備機構】

個別施策	実施時期（年度）					主な所管課
	27	28	29	30	31	
ア. 経営相談の拡充	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課
イ. 制度融資等の活用	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課
ウ. 公共調達に地元中小事業者を活用	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	管財課 生活安全課
エ. 地域内の消費活動の促進	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課
オ. 商工会の活動支援	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課



まちなか賑わいまつり

(2) 商店街にぎわいの再生

基本施策	(2) 商店街にぎわいの再生															
施策内容	<p>駅前など市街地にある商店は、買物等に便利であるほか、店前の夜間照明や清掃など街の美観や防犯、市民の触れ合いや賑わいにも役立ち、コミュニティの拠りどころとなってきました。</p> <p>しかし、少子高齢化や市民の買物行動等の変化に伴い、既成市街地・商店街において買い物客が減少し、商店の経営が厳しくなり、空き店舗や空き家も少なからず生まれています。</p> <p>こうした地域社会と居住者ニーズの変化に対応して、商業や生活関連サービスを集約するなど、コミュニティの拠点として再生を図り、誰もが快適に利用できる安全・安心な商店街環境整備に取り組めます。</p>															
個別施策	<p>ア. 商店街活性化の活動支援《重点》</p> <p>空き店舗解消のための支援対策の充実を図るとともに、「商店街」の有志が共同して活性化の調査・研究、活動を行う場合、経営相談等の支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家・店舗出店への支援（店舗リフォーム、駐車場等への補助検討） ・経営相談の実施 ・栃木県中小企業団体中央会と連携した事業推進 <table border="1" data-bbox="384 907 1369 952"> <tr> <td>数値目標</td> <td>空き店舗奨励金等活用件数</td> <td colspan="3">5か年で延べ15件</td> </tr> </table> <p>イ. 買い物環境の整備</p> <p>地元商店等による街灯の管理、定期的清掃活動、花いっぱい活動などに対する支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場花いっぱい事業 ・宅配サービス事業 ・商店街利用に伴うお出かけ号の活用 ・街頭防犯カメラ設置補助 ・防犯灯LED化の推進 <div data-bbox="922 1064 1385 1411" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">駅前広場花いっぱい運動</p> <table border="1" data-bbox="384 1480 1369 1525"> <tr> <td>数値目標</td> <td>花いっぱい事業実施個所数</td> <td>H25</td> <td>2か所</td> <td>H31</td> <td>5か所</td> </tr> </table> <p>ウ. コミュニティビジネスモデル支援制度【新規】</p> <p>コミュニティビジネスのモデルとなる先例事業を支援するため、セミナーの開催やアドバイザー等の派遣を行います。</p>					数値目標	空き店舗奨励金等活用件数	5か年で延べ15件			数値目標	花いっぱい事業実施個所数	H25	2か所	H31	5か所
数値目標	空き店舗奨励金等活用件数	5か年で延べ15件														
数値目標	花いっぱい事業実施個所数	H25	2か所	H31	5か所											
国・県等の関連施策	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街支援補助金【中小企業庁】 ・商業活性化アドバイザー派遣事業【(独)中小企業基盤整備機構】 ・商店街よろず相談アドバイザー派遣事業【(独)中小企業基盤整備機構】 ・総合相談・コーディネート【(公財)栃木県産業振興センター】 															

個別施策	実施時期（年度）					主な所管課
	27	28	29	30	31	
ア. 商店街活性化の活動支援	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課
イ. 買い物環境の整備	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課 生活安全課
ウ. コミュニティビジネスモデル支援制度	検討	⇒	実施	⇒	⇒	商工観光課



石橋駅西口の風景




おでかけ号



共通商品券の発行

(3) 市内立地企業の振興

基本施策	(3) 市内立地企業の振興				
施策内容	<p>市内の工業団地等に立地する企業と、それらを活かした諸産業の振興のため、産業間の連携強化を図り、立地企業のコストダウン・収益性の向上と、関連企業の事業領域拡大に取り組めます。</p> <p>市内立地企業に人手不足・採用難の傾向が見えていることなどから、既存工場等の魅力向上、イメージアップを図る等、様々な取組を支援します。</p> <p>立地企業の敷地等において、未利用地や遊休施設等がある場合、それらを新規企業立地などに活用し、市内生産活動の拡大と、立地企業の業績向上にも寄与する施策に取り組めます。</p>				
個別施策	<p>ア. 市内産業間の連携強化<<重点>></p> <p>工業団地内立地企業相互や、市内の医療・福祉・サービス業、運送業等との連携に繋がる交流機会を拡充します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称) 下野市立地企業連携協議会の設置【新規】 ・産業祭の開催 ・企業交流会・講演会の実施 <table border="1" data-bbox="384 860 1366 902"> <tr> <td data-bbox="384 860 536 902">数値目標</td> <td data-bbox="536 860 994 902">企業交流会・講演会の開催</td> <td data-bbox="994 860 1366 902">毎年開催</td> </tr> </table>  <p data-bbox="523 1332 906 1364">下野市立地企業講演会の様子</p> <p>イ. 既存企業等への支援<<重点>></p> <p>工場施設の増改築や生産設備等への投資に対する助成、環境イメージアップを図る場合の緑化率軽減等既存企業の操業継続を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場立地法準則条例の検討【新規】 ・ジェットロと連携した海外展開への支援【新規】 ・産業技術センターとの連携した事業支援 <p>ウ. 遊休化工場敷地等の有効活用を促進</p> <p>市内工業団地等の未利用地など遊休化用地、施設等を把握し、新規企業立地などに有効活用を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業用地内の未利用地、遊休用地、施設等の把握 		数値目標	企業交流会・講演会の開催	毎年開催
数値目標	企業交流会・講演会の開催	毎年開催			
国・県等の関連施策	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営の導入支援【環境省】 ・栃木県産業定着集積促進支援補助金【栃木県】 ・ものづくり技術強化補助金【栃木県】 ・中小企業外国出願支援事業【(公財) 栃木県産業振興センター】 				

第5章 これからの産業振興と具体的な取組

基本施策	実施時期（年度）					主な所管課
	27	28	29	30	31	
ア. 市内産業間の連携強化	検討 実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課
イ. 既存企業等への支援	検討 実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課
ウ. 遊休化工場敷地等の有効活用を促進	検討 実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課



産業祭



下野市立地企業交流会

人口構成の変化や価値観の多様化、飛躍的な技術革新、グローバル化などによって、市内産業を取り巻く状況は大きな変化が起きています。かつて産業社会を牽引した家電や自動車製造業は生産額や雇用者数の比率を下げ、情報通信業の生産額や福祉系産業の雇用数が大きな割合を占めてきています。

今後においても、このような産業構造の変化は避けられないものと考えられることから、将来成長が見込める産業を積極的に誘致・育成する必要があります。

本市は、恵まれた自然環境や優れた立地条件、産業の種となる豊かな地域資源に恵まれていることから、それらを活かした産業の誘致・育成が可能です。

近年、企業の海外移転が進展していますが、大量生産は海外で行い、研究開発等を行ういわゆるマザー工場や情報通信業、高度医療・ヘルスケア産業などの付加価値の高い業種は国内にとどまり、将来においても生産活動を維持することが見込まれます。このため、本市のもつ地域資源の有利性を積極的にアピールし、マザー工場や高付加価値業種の立地を進めます。

また、既存の立地企業についても適切な対応を図ることで、市外への事業所移転などを抑えることが重要です。このためには、平素から本市に立地した企業の要望等に耳を傾け、行政と立地企業及び立地企業間での情報交換や交流を積極的に行うことが重要です。市においては要望等を能動的に聴取し、要望の実現に向け努力することが、立地企業の本市における安定的な操業はもちろん、新たな企業の立地にも繋がると考えます。

現在、本市では「下野市総合計画 後期基本計画」に掲げる将来像「思いやりと交流で創る新生文化都市」の実現に向け取り組んでいます。本市では、これら「まちづくり」と一体となった産業振興を推進し、市の活力向上と魅力あるまちづくりの形成という観点から、企業の誘致・育成と良好な住環境の保持の両立を図ることが必要です。

このようなことから、本計画の目指す「<健やかライフ>を育む産業都市」の実現のため、次の業種を、本市が積極的に誘致を進める産業とします。

下野市が誘致を積極的に進める産業


- ① 自治医科大学・同附属病院等医療機関との連携が可能な「高度医療、福祉、ヘルスケア（医療機器を含む）産業」等
- ② 新4号国道などの恵まれた交通アクセスを活かした「物流関連産業」
- ③ 地域の農業資源を活かした地場農産品加工などの「食品関連産業」
- ④ 災害の少ない安定した地域環境を活かした「情報関連産業」
- ⑤ 成長が期待される「産業用機械などの製造業、エネルギー関連産業」
- ⑥ その他、ホテルなどの観光関連産業、研究所

(1) 企業誘致の推進

基本施策	(1) 企業誘致の推進					
施策内容	〈健やかライフ〉を育む産業都市の実現のため、本市のもつ恵まれた自然環境や優れた立地条件と、産業の種となる豊かな地域資源を活かし、高度医療、福祉、ヘルスケア産業、情報関連産業などの企業誘致を進めるとともに、工場適地の指定やインフラ整備を推進します。					
個別施策	ア. 企業誘致支援制度の創設《重点》					
	企業の立地に際して地域間の競争が増す中で、本市へ企業立地を誘導するための支援制度を検討します。					
	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致支援制度の創設【新規】 ・雇用奨励金制度の拡充 					
	数値目標	雇用奨励金の活用件数	5か年で延べ20件			
個別施策	イ. 企業誘致活動の拡充					
	企業が本市に立地するためには、まず企業に本市を知ってもらうことが必要となります。このため、企業立地環境の紹介を充実させるとともに、企業訪問、アンケート実施などの積極的な取組を行います。					
	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の活動を紹介するパンフレット等の発行 ・市長の企業訪問 					
	ウ. 工場適地の探索・適地指定【新規】					
個別施策	遊休工場用地や、新たな工場適地を探し「工場適地指定」を図ります。					
	<ul style="list-style-type: none"> ・工業適地の調査の実施 					
	エ. 工業団地、適地の関連インフラ整備					
	既存工業団地や工場適地について、関連インフラ（道路、排水路等）へのニーズを把握し整備を進めます					
個別施策	<ul style="list-style-type: none"> ・企業ニーズアンケートの実施 ・工業団地内インフラの適正管理 					
	数値目標	雨水管マンホール蓋交換	H25	43か所	H31	90か所
	国・県等の関連施策	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県企業立地・集積促進補助金【栃木県】 ・立地企業緊急雇用促進補助金【栃木県】 ・栃木県産業立地促進資金【栃木県】 				

個別施策	実施時期（年度）					主な所管課
	27	28	29	30	31	
ア. 企業誘致支援制度の創設	検討	⇒	実施	⇒	⇒	商工観光課
イ. 企業誘致活動の拡充	検討 実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課
ウ. 工場適地の探索・適地指定	検討	実施	⇒	⇒	⇒	商工観光課
エ. 工業団地、適地の関連インフラ整備	検討	実施	⇒	⇒	⇒	商工観光課

(2) 医療・福祉系産業の誘致・育成

基本施策	(2) 医療・福祉系産業の誘致・育成
施策内容	<p>医療・福祉系産業は今後の成長産業として期待されており、本市には自治医科大学・同附属病院もあることから、その協力や指導を得ながら、機器製品開発、情報システム開発、サービス開発等に取り組む企業やベンチャー人材の誘致・育成を進めます。</p> <p>市内中小企業等と自治医科大学・同附属病院及び市の協力体制づくりを進めます。</p>
個別施策	<p>ア. 医療・福祉系産業に取り組む事業者・企業の体制づくり《重点》</p> <p>自治医科大学・同附属病院と連携して、〈健やかライフ〉に関連する諸産業の集積地づくりを進めます。その一歩として、連携体制づくり、講演会開催等を進めます。【新規】</p>  <p>自治医科大学・同附属病院</p> <p>イ. ベンチャー人材・企業の誘致</p> <p>〈健やかライフ〉産業の起業に取り組むベンチャー人材・企業の誘致を図り、産業集積づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等を活用した誘致PR
国・県等の関連施策	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業・小規模事業者連携促進支援補助金（新連携支援事業）【中小企業庁】 ・とちぎ未来チャレンジファンド【(公財) 栃木県産業振興センター】 ・新事業開拓支援資金【栃木県】 ・特定産業振興融資【栃木県】

個別施策	実施時期（年度）					主な所管課
	27	28	29	30	31	
ア. 医療・福祉系産業に取り組む事業者・企業の体制づくり	検討実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課 健康増進課
イ. ベンチャー人材・企業の誘致	検討実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課

(3) 田園都市の資源を利用した産業の育成・支援

基本施策	(3) 田園都市の資源を利用した産業の育成・支援				
施策内容	<p>本市には、広い農地に平地林が点在する田園景観があり、晴れた日の日光連山や筑波山の眺望も優れています。</p> <p>市内を流れる姿川、田川、鬼怒川などが作り出した緩やかな起伏の自然地形や、古代からの歴史を物語る国指定史跡や古墳、多彩な祭り・イベントなどの存在は、魅力的な資源です。</p> <p>これらの資源を活用すれば、農業資源を活用する産業が大きく育つ潜在的な可能性を持っています。</p> <p>そこで、先進事例の紹介と提携などによる担い手の育成、拠点づくりなどにより6次産業の育成を進めます。</p>				
個別施策	<p>ア. 6次産業の展開・推進<<重点>></p> <p>市内直売施設の連携によるPR推進や地域の特産品を生かした直売所単位の特徴の創出、既存の加工施設や石橋南部に新設される加工施設の連携による地場食材を活用した特産品の開発推進を進めます。</p> <p>また、農業、商業、工業等が協力し市内産の農産物やお互いの得意分野を生かして新商品の開発、生産等を行い、需要の開発に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食のオープンスクールの開催 ・農産物直売所を活用した地元特産品の販売促進 ・農産物加工所及び販売所の設置 <table border="1" data-bbox="384 1037 1366 1077"> <tr> <td style="background-color: #e6f2ff;">数値目標</td> <td style="background-color: #ffe6e6;">食のオープンスクール</td> <td style="background-color: #e6f2ff;">毎年開催</td> </tr> </table> <p>イ. 農業体験等のビジネス育成【新規】</p> <p>田園都市の特性を活かしつつ、農業体験や市民農園の貸し出し等により農業に対する関心を高めることを図ります。また、農業の持つ癒し効果を活用できるよう園芸療法等を産業化できるように、先進事例の紹介、視察、提携などを通して、こうしたビジネスの育成を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民農園の貸出 ・農業体験ビジネスの検討 ・医療機関と連携した農業体験、園芸療法等の検討 <p>ウ. 空き家の活用【新規】</p> <p>空き家実態調査を踏まえ、定住促進事業として空き家の活用を図ります。空き家情報・所有者の貸し出し条件と入居希望者のマッチングを図る制度等の導入を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住促進事業の検討 		数値目標	食のオープンスクール	毎年開催
数値目標	食のオープンスクール	毎年開催			
国・県等の関連施策	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業・小規模事業者連携促進支援補助金（農商工等連携対策支援事業）【中小企業庁】 ・とちぎ未来チャレンジファンド【(公財) 栃木県産業振興センター】 ・新商品等開発支援事業【(公財) 栃木県産業振興センター】 ・販路開拓支援事業【(公財) 栃木県産業振興センター】 				

個別施策	実施時期（年度）					主な所管課
	27	28	29	30	31	
ア. 6次産業の展開・推進	検討 実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課 農政課
イ. 農業体験等のビジネス育成	検討 実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課 農政課 健康増進課
ウ. 空き家の活用	検討 実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課 生活安全課 都市計画課



田植え体験



食のオープンスクール



銭石まんじゅう



道の駅しもつけ農産物直売コーナー

(4) 地域ニーズに応えるコミュニティビジネス等の振興

基本施策	(4) 地域ニーズに応えるコミュニティビジネス等の振興				
施策内容	<p>家族や居住形態の変化に伴い、高齢者世帯や、働きながら子育てする女性など、社会的な支援を必要とする人々や状況が増加し、対応を求められています。</p> <p>そうした課題を新しいサービス需要と捉え、ビジネス化することで、働く場・機会ができ、住民間の触れ合いも生まれ、便利で暮らしやすいコミュニティが実現できます。</p> <p>コミュニティ・カフェ、ホームヘルプサービス、デイサービス、保育サービス、学習塾、不用品交換・リサイクル、シェアハウス、コワーキングスペースなど様々なコミュニティビジネスが生まれています。</p> <p>こうしたビジネスを街中に取り込んでいくことで、商店街の賑わい再生も期待できるため、手法等の検討を進めます。</p>				
個別施策	<p>ア. コミュニティビジネス担い手の発掘・育成【新規】</p> <p>先行起業者を講師に、コミュニティビジネス起業講座、女性の創業講座等を開催し、実践ノウハウ伝授、地域の人脈づくりなど、起業実現に向けた実践への支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティビジネス起業講座や先進事例の紹介 ・コミュニティビジネス専門家の派遣 <p>イ. コミュニティビジネス等創業支援</p> <p>空き店舗活用など事業用施設の確保支援、地域・関連事業者紹介など、起業から事業定着に向う初動期間の支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度融資における創業資金・女性起業家資金 ・空き店舗等活用奨励金 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #ffffcc;">数値目標</td> <td style="background-color: #ffe4e1;">創業資金利用件数</td> <td style="text-align: center;">5か年で延べ20件</td> </tr> </table>		数値目標	創業資金利用件数	5か年で延べ20件
数値目標	創業資金利用件数	5か年で延べ20件			
国・県等の関連施策	<ul style="list-style-type: none"> ・創業サポートアカデミー【(公財) 栃木県産業振興センター】 ・創業希望者交流サロン【(公財) 栃木県産業振興センター】 ・とちぎ未来チャレンジファンド【(公財) 栃木県産業振興センター】 				

個別施策	実施時期(年度)					主な所管課
	27	28	29	30	31	
ア. コミュニティビジネス担い手の発掘・育成	検討	⇒	実施	⇒	⇒	商工観光課
イ. コミュニティビジネス等創業支援	検討 実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課

基本目標 3. 地域ブランドの創出・展開

〈健やかライフ〉を育む産業都市づくりにおいては、地域の魅力を慕って人材や企業が自然に集まって来るような、地域の魅力をアピールすることが重要な柱となります。

本市の現状は、数多くの魅力的な資源がありながら、地域のアイデンティティを確立・表現できずにいるので、地域ブランドの創出・展開＝地域ブランディングによって、地域の魅力を高めアピールしようとするものです。

そのため、これまでに取組まれてきた「下野ブランド」づくりを、農商工連携等によって一層拡充し普及を図る中で、地域ブランド・イメージの向上を図ります。

また、市内の様々な資源を、観光事業に活用することにより、ビジネスを通して観光収入を得ながら、訪れた人々に本市の魅力を感じてもらい、その魅力の発信者になることも期待されます。




下野ブランド



アンテナショップ（東京ソラマチ）でのトップセールス

(1) 農商工連携等による下野ブランドの展開

基本施策	(1) 農商工連携等による下野ブランドの展開																						
施策内容	<p>これまで下野ブランドの認定を行ってきましたが、地域イメージアップのためには、さらなるステップアップが必要です。</p> <p>このため、販売の商業、加工の工業が連携し、これまで以上に人気を得られる下野ブランドを継続して創出する必要があります。</p> <p>また、認定した下野ブランドの認知度を一層高める取組を進めます。</p>																						
個別施策	<p>ア. 下野ブランドの拡充・普及<<重点>></p> <p>新たなブランドの発掘・開発促進を図るとともに、認定されている下野ブランドのPR活動を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下野ブランド認定事業の継続実施 ・ブランドの価値を高める知的財産権の取得促進【新規】 ・ふるさと納税者謝礼としてブランド商品送付 ・かんぴょうの消費拡大支援事業の継続推進 ・農村生活研究グループ協議会の活動支援 <div data-bbox="1091 645 1374 1003" style="text-align: right;">  </div> <table border="1" data-bbox="375 1025 1374 1070" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #ffffcc;">数値目標</td> <td style="background-color: #ffe4c4;">下野ブランド認定件数</td> <td style="width: 50px;">H25</td> <td style="width: 50px;">19件</td> <td style="width: 50px;">H31</td> <td style="width: 50px;">40件</td> </tr> </table> <p>イ. イメージキャラクターを活用したPR</p> <p>カンピくんの着ぐるみやイラスト、コミックキャラクターを有効活用しイベントやチラシ等で様々なPR手法を使い、本市の認知度の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種商品へのキャラクターの掲載によるシティーセールス ・コミックキャラクター（瓜田瑠梨）との連携による商品開発【新規】 ・アンテナショップ（東京ソラマチスカイツリー内）でのPR活動 <table border="1" data-bbox="375 1330 1374 1375" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #ffffcc;">数値目標</td> <td style="background-color: #ffe4c4;">カンピくん着ぐるみ活用件数</td> <td style="width: 50px;">H25</td> <td style="width: 50px;">55件</td> <td style="width: 50px;">H31</td> <td style="width: 50px;">100件</td> </tr> </table> <p>ウ. 道の駅しもつけ等の活用</p> <p>道の駅しもつけや市内JR3駅での下野ブランド販売やポスター等の掲示によるPR活動、各種イベント等開催による地域振興を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅しもつけを本市のシティーセールス拠点として整備推進 ・かんぴょうまつりなどのイベント開催による地域振興 ・花畑景観事業による憩いの場の提供【新規】 <table border="1" data-bbox="375 1630 1374 1675" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #ffffcc;">数値目標</td> <td style="background-color: #ffe4c4;">道の駅しもつけ利用者数</td> <td style="width: 50px;">H25</td> <td style="width: 50px;">2,502千人</td> <td style="width: 50px;">H3</td> <td style="width: 50px;">2,800千人</td> </tr> </table>					数値目標	下野ブランド認定件数	H25	19件	H31	40件	数値目標	カンピくん着ぐるみ活用件数	H25	55件	H31	100件	数値目標	道の駅しもつけ利用者数	H25	2,502千人	H3	2,800千人
数値目標	下野ブランド認定件数	H25	19件	H31	40件																		
数値目標	カンピくん着ぐるみ活用件数	H25	55件	H31	100件																		
数値目標	道の駅しもつけ利用者数	H25	2,502千人	H3	2,800千人																		
国・県等の関連施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと名物応援事業【中小企業庁】 ・知的財産関連セミナー【栃木県】 ・「ものづくりデザイン塾」の実施【栃木県】 ・とちぎ未来チャレンジファンド【(公財) 栃木県産業振興センター】 ・農商工連携支援機関助成事業【(公財) 栃木県産業振興センター】 																						

個別施策	実施時期（年度）					主な所管課
	27	28	29	30	31	
ア. 下野ブランドの拡充・普及	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課 農政課
イ. イメージキャラクターを活用したPR	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課
ウ. 道の駅しもつけ等の活用	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課



かんぴょう祭り（かんぴょうむき体験）



コミックキャラクター（瓜田瑠梨）

(2) 観光事業との連携・推進

基本施策	(2) 観光事業との連携・推進										
施策内容	<p>本市のシティセールスを図り、地域ブランド力を高めるためには、着地型観光事業をはじめとした観光事業の振興による、情報発信、事業展開を図ることが必要です。</p> <p>このため、ストーリー性のある周遊ルートの創設や既存の観光ルートの再構築により、地域の魅力・ブランド力を高めます。</p> <p>※着地型観光事業とは、旅行先の地域・事業者が主体となって、地域の良さをアピールし、旅行プランなどを組み立て、集客につなげようとするものです。主に都会にある出発地の旅行会社が企画して参加者を目的地へ連れて行く従来の「発地型観光」と比べて、地域の振興につながると期待されています。</p>										
個別施策	<p>ア. 着地型観光事業の推進【新規】</p> <p>地域の観光資源を有効に活用するため、着地型観光事業の導入を目指し、観光資源の資料やイベント情報などを事業者提供するなど、情報発信やツアー集客に役立つ支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元観光事業者との連携強化 ・地域資源を有効活用したマップ等の作成 ・工場見学や農業体験等を組み合わせた体験型ルートの企画・支援 ・観光自転車の利用拡充による観光スポットへのアクセスの向上 ・ボランティアガイドの育成・強化 <table border="1" data-bbox="375 1003 1372 1043"> <tr> <td>数値目標</td> <td>観光自転車利用者数</td> <td>H25</td> <td>691人</td> <td>H31</td> <td>1,000人</td> </tr> </table> <p>イ. 市内の休憩所・食事処・土産品等の情報発信</p> <p>豊かな田園風景や市内の生産物を観光資源として活用し、休憩しながら、美味しいものを食べたり、地元特産品のお土産を買えるようなスポットの情報発信を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店や、土産物生産・販売事業者への情報提供などの支援 ・地元特産品を活用した観光商品の開発支援 ・花いっぱい活動推進による地域の魅力向上 <p>ウ. 観光協会等との連携</p> <p>観光協会と行政との役割分担を図り、連携することにより、観光事業を積極的に推進します。</p> <p>また、地元商工会や商店、道の駅しもつけ、広域や県の観光組織等関係機関と連携し、更なる事業の振興、産業の発展を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本物の出会い栃木」観光キャンペーン推進協議会との連携 ・広域的な観光ルートとイベントを企画（広域スタンプラリー、広域パンフレットの作成等） 					数値目標	観光自転車利用者数	H25	691人	H31	1,000人
数値目標	観光自転車利用者数	H25	691人	H31	1,000人						
国・県等の関連施策	<ul style="list-style-type: none"> ・文化遺産を活かした地域活性化事業【文化庁】 ・ふるさと名物応援事業【中小企業庁】 ・観光まちづくり支援事業【栃木県】 ・多言語化観光案内板等整備支援事業【栃木県】 										

個別施策	実施時期（年度）					主な所管課
	27	28	29	30	31	
ア. 着地型観光事業の推進	検討	実施	⇒	⇒	⇒	商工観光課
イ. 市内の休憩所・食事処・土産品等の情報発信	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課
ウ. 観光協会等との連携	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課



インフォメーションセンター
オアシスポッポ館



観光自転車



祇園原の松林



下野国分寺跡

基本目標 4. 雇用・就業機会の拡充

本市と周辺地域では、工場等の立地企業が雇用の約5割を抱えています。その大部分が正社員ですが、職種では工場労働者が多くを占めます。

市内の従業者の年齢構成では、35歳未満の若年層が次第に少なくなっています。企業アンケートでも、人手不足や採用難の問題が挙げられていて、人材確保への対策が期待されています。

一方、中高年の就業者は多くなっており、今後、定年後の再就職を求める人も多くなると予想され、その対策も重要になりつつあります。

技術革新やグローバル競争等に伴う急激な産業の変化から、大手企業でも期間雇用、契約社員、派遣社員等の不安定雇用が増えており、若者では自営業等を目指す人々も増える傾向があります。若者の起業等による自営就業や高齢者のライフスタイルに合わせた就業を支援し、産業活動の担い手を育成・確保することにより、定住促進を図ります。

このため、就業支援の充実・強化、人材育成の教育・訓練、起業による就業の支援などの施策を切れ目なく進めます。



ICT講習会の様子



伝統産業である本場結城紬

(1) 就業支援の充実・強化

基本施策	(1) 就業支援の充実・強化				
施策内容	地域産業の振興を持続的なものとするため、経営安定に必要な人材確保を図り、地域雇用を促進する取組を進め、市内企業などへの就職活動の機会や情報を提供します。				
個別施策	<p>ア. 就業活動の支援 帰郷就業や起業による就業などに対応するため、ハローワークとの連携強化による切れ目ない支援や近隣市町等と共催による合同説明会、セミナーや面接会など就職につながる機会づくりや情報提供を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークとの連携による就職情報の提供 ・雇用奨励金の交付 ・近隣市町等との共催による合同説明会の開催 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">数値目標</td> <td style="width: 55%;">近隣市町等との共催による合同説明会</td> <td style="width: 30%;">毎年開催</td> </tr> </table> <p>イ. 高齢者の雇用、就業機会の確保 シルバー人材センターによる就業機会の提供を支援するほか、福祉ボランティア等として働く機会の情報収集と、希望者への情報提供を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターとの連携による雇用の確保支援 ・民生委員・児童委員等への情報提供 <p>ウ. 若者の就労支援 市内に居住する若年層で働く意向を持つ人をはじめ、市内企業で働きたい人に求人情報を提供したり、関係機関と連携して就業意欲向上のセミナー等を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求人情報の提供 ・各種セミナーの実施 		数値目標	近隣市町等との共催による合同説明会	毎年開催
数値目標	近隣市町等との共催による合同説明会	毎年開催			
国・県等の関連施策	<ul style="list-style-type: none"> ・トライアル雇用奨励金【厚生労働省】 ・求職者支援制度【厚生労働省、ハローワーク】 ・ハローワーク、わかものハローワーク【厚生労働省 栃木労働局】 ・とちぎジョブモール、とちぎの就職支援サイト「WORK WORK（わくわく）とちぎ」【栃木県】 ・求職者と企業のマッチングコース（求人セット型訓練）【栃木県】 ・若年求職者バウチャー事業【栃木県】 				

個別施策	実施時期（年度）					主な所管課
	27	28	29	30	31	
ア. 就業活動の支援	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課
イ. 高齢者の雇用、就業機会の確保	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課 社会福祉課 高齢福祉課
ウ. 若者の就労支援	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課

(2) 人材の育成と確保

基本施策	(2) 人材の育成と確保							
施策内容	国・県等の職業能力開発、職業訓練、技能訓練などの機会を紹介するほか、人材育成のためのICT講座、教育・訓練の場の提供を推進します。							
個別施策	<p>ア. 事業承継の支援<<重点>> 後継者育成、事業譲渡などの学習・講座、個別相談等により、地元商工業の事業承継の円滑化を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継のためのセミナーの実施【新規】 ・商工会青年部への支援 ・若手事業者のネットワークづくり（交流会等の開催） ・本場結城紬振興協議会への支援 ・小中学生職場体験の実施 <p>イ. 職業能力の開発支援 国・県等の能力開発支援制度を紹介するほか、市独自のICT活用講座の開催等を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT講座の開催 ・国等の実施する能力開発プログラムの活用促進 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #f2f2f2;">数値目標</td> <td style="background-color: #f2f2f2;">ICT講座参加者数</td> <td>5か年で延べ100人</td> </tr> </table> <p>ウ. 技術者のスキルアップ支援 職業能力開発促進法に基づく技能検定に合格した者をたたえ、表彰することにより、社会的地位の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能検定合格者表彰 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #f2f2f2;">数値目標</td> <td style="background-color: #f2f2f2;">技能検定合格者表彰者数</td> <td>5か年で延べ125人</td> </tr> </table> <p>エ. ワークライフバランスの推進 市内企業や事業者の適正な人材の確保と育成のため、ワークライフバランス支援事業等の啓発を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランス推進のためのPR活動 ・企業、事業者への情報提供による啓発 <p>※ワークライフバランスとは、「仕事と生活の調和」とされ、国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活においても人生の各段階に応じた生き方を実現することです。</p>		数値目標	ICT講座参加者数	5か年で延べ100人	数値目標	技能検定合格者表彰者数	5か年で延べ125人
数値目標	ICT講座参加者数	5か年で延べ100人						
数値目標	技能検定合格者表彰者数	5か年で延べ125人						
国・県等の関連施策	<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継円滑化支援事業【中小企業庁】 ・求職者と企業のマッチングコース（求人セット型訓練）【栃木県】 ・若年求職者バウチャー事業【栃木県】 ・とちぎマイスター技能向上塾【栃木県】 ・栃木県事業引継ぎ支援センター【認定機関 宇都宮商工会議所】 							

個別施策	実施時期（年度）					主な所管課
	27	28	29	30	31	
ア. 事業承継の支援	検討 実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課 学校教育課
イ. 職業能力の開発支援	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課
ウ. 技術者のスキルアップ支援	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課
エ. ワークライフバランスの推進	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	商工観光課 総合政策課



職場体験の様子



職場体験の様子



結城紬機織り体験

(3) 起業等による就業の支援

基本施策	(3) 起業等による就業の支援				
施策内容	近年の雇用では派遣社員、契約社員、期間契約など不安定雇用が増えているため、若者が起業等による自営就業や地方での中小企業就職を目指す傾向が増えるよう、融資等による起業・就業支援に取り組めます。				
個別施策	<p>ア. 起業による就業支援</p> <p>市制度融資の創業資金、女性起業家創業資金や空き店舗等活用奨励金の有効活用及び国・県等が開催する起業セミナー等の情報提供を行い、起業におけるノウハウやスキルを習得できる機会を設けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業資金、女性起業家創業資金などの拡充検討 ・事業所見学の実施 ・若手事業者のネットワーク化や活動への支援 <p>イ. 事業引き継ぎの支援【新規】</p> <p>国等が開催している後継者育成セミナーや講座の情報提供や事業主が高齢で跡継ぎがない場合など、事業見習い等から入って、事業を引き継ぐケースも増えつつあり、その希望者を募り、仲介する等の支援を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本場結城紬製織伝習生の仲介、情報提供 ・後継者育成セミナー等の情報提供 ・新規企業及び事業引き継ぎの支援(創業資金融資、後継者マッチング) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">数値目標</td> <td style="width: 55%;">本場結城紬展示会の開催</td> <td style="width: 30%;">毎年開催</td> </tr> </table>		数値目標	本場結城紬展示会の開催	毎年開催
数値目標	本場結城紬展示会の開催	毎年開催			
国・県等の関連施策	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、若者／シニア起業家支援資金【日本政策金融公庫】 ・とちぎ未来チャレンジファンド【(公財) 栃木県産業振興センター】 ・創業サポートアカデミー(創業塾・実践編)【(公財) 栃木県産業振興センター】 ・創業希望者交流サロン(創業塾・入門編)【(公財) 栃木県産業振興センター】 ・創業支援事業【(公財) 栃木県産業振興センター】 				

個別施策	実施時期(年度)					主な所管課
	27	28	29	30	31	
ア. 起業による就業支援	検討	実施	➡	➡	➡	商工観光課
イ. 事業引き継ぎの支援	検討	実施	➡	➡	➡	商工観光課

